

2年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取り組み）	成果と課題
国語	・すすんで読書活動に取り組んでいるが、物語や図鑑など本の種類に偏りが見られる。 ・既習の漢字において、定着や日常の中での使用に課題がある。 ・全体で話し合う学習場面での発言には、個人差があり苦手意識が見られる。	・各教科や行事など学習内容にあった図書を選出し、様々な本に触れる機会を作る。学校図書館支援員と協力し、読み聞かせや本の紹介を行なう。 ・新出漢字に関わる語彙を広げ、生活の中で活用できるようにする。文章を書いた後に、漢字の活用や正しい表記ができているかを読み返し、使い分けの知識を増やしていく。 ・話し合うポイントや話し方の具体例を示したり、話し合いを始める前に数名の児童と意見を共有したりしてから、全体で話し合うことで、発言への不安や苦手意識を減らす。	
算数	・文章問題において、題意を捉え、自分の考えを形成する力を伸ばしていく必要がある。 ・問題の文言や形式に関わらず、問われていることをつかむことに課題がある。 ・長さ（mm, cm, m）や水のかさ（mL, dL, L）、時間（時間、分）の単位の換算に課題が見られる。	・問題の意味を確認し、どのように考えたのかを説明する時間を取り入れる。既習事項を基に図や言葉、式を用いて考え方を説明することを繰り返し、表現できるようにする。 ・多様な考え方で様々な練習問題に取り組む経験を増やす。 ・物差しやdLマス、時計の模型など、道具を使った具体的な操作活動を通して量感を捉えながら、適用問題を繰り返し練習する。	
生活	・野菜を育てる体験を楽しみ、意欲的に活動に取り組む児童が多いが、その中で、自分の気付きや考えを伝えることに課題がある。 ・様々な人とすすんで関わる児童が多く見られるが、そこから新しい問いをもったり、気付きを広げたりする力を身に付ける必要がある。	・良い気付きや新しい視点を紹介し、友達と共有する場面を設けて、自身の考えを広げられるようにする。 ・地域と連携し、多様な人と関わって気付きを広げられる活動を計画的に設定する。また、視点を示したり比較したりすることで、新たな問いや気付きにつながるようにする。	
音楽	・音の高さや長さに注目して聴いたり歌ったりすることに課題がある。 ・鍵盤ハーモニカのフレーズに合わせた表現やタンギングについて課題がある。 ・鑑賞の学習では曲の楽しさや拍の面白さを見いだして聴くことに手だてを講じる必要がある。	・歌唱の学習では少人数のグループに分け、お互いの歌唱を聴き合う時間を設ける。 ・鍵盤ハーモニカのフレーズにあった息の使い方やタンギングを提示し、個別に吹く時間を十分に設定し、技能を高めていく。 ・鑑賞教材では、様々な表現方法に気付けるような言葉カードやリズム図形の提示をし、拍を体で感じながら聴く活動を充実させる。	
図工	・学習活動に意欲はあるが、自分のイメージや想像を広げ、自信をもって粘り強く取り組むことに課題がある。 ・道具（のり・はさみ・クレパス・水彩絵の具など）の基本的な扱い方を身に付けていく必要がある。	・活動の前に話し合い活動を設け、イメージを広げたり考えたりできるようにする。制作中にも友達の作品を鑑賞して、良さや工夫を共有する場面を設定する。 ・初めて扱う道具や題材に慣れ親しむ時間を設けたり、定期的に扱い方を確認したりし、その後の作品制作で自分のイメージを表現できるようにする。	
体育	・体育が好きな児童は多いが、鉄棒やフラフープ、登り棒やうんていなどの固定遊具を使った運動遊びなど、普段の生活では慣れていない運動にもすすんで取り組もうとすることに課題がある。 ・めあてを立てたり、振り返って改善したりする学習サイクルを身に付けていく必要がある。	・腕で体を支える運動や逆さになる運動、思い切りつかんで保持する運動などを低学年の内に楽しんで親しめるようにする。ペアやグループでの活動を取り入れ、互いに教え合いながら協力して学ぶ場面を設ける。 ・I C T機器を活用して、自分の動きを見返したり、友達とアドバイスし合ったりできるようにする。学習カードを活用して、めあてを立てたり、学習を振り返ったりする経験を多く積み重ねる。	